

防災まちづくりの疑問？はてな？

◆消火器にも期限があります◆

消火器は、炎が天井に届くまでの初期消火に最も有効な用具です。その消火器にも使用有効期限があることをご存知ですか？

一般的な消火器は、消火薬剤を加压充填されたガスによって勢よく噴射して使います。万一、消火器本体にサビによる腐食やホースの詰まりなどがあると、破裂する危険もあります。このため、使用有効期限を定め、消火器本体に表示しています。もし期限が切れている場合は、販売会社へ回収をお願いします（家庭ゴミではありません、一般に回収費用がかかります）。



街なかにも消火器が設置されています

我が家でできる防災対策（その③）

◆道をひろげて安全なまちに◆

道は生活をする上で大切な基盤です。人や車がいきなり場所へ自由に移動できるようにしています。

生活にもっとも身近な家の前の道は、日常たりや風通しを確保したり、火災が燃え広がることを防いだり、消防自動車が通行したり、重要な役割を果たしています。

また、道幅が広くても路上駐車などがあると、通れる幅が狭くなってしまいますので、日頃のマナーが大切です。

区では、幅員4メートルに満たない「狭い道路」の解消について、区が指定する道路をひろげるために行なわれた道路舗装、塀などの工事費の一部を助成する制度を実施しています。

担当課 大田区建築調整課 地域道路整備担当（電話5744-1308）



道路が狭くて消防自動車が通れないよ!!



道がひろがりブロック塀が生け垣になれば安全だね!!

編集後記

防災まちづくりの目標のひとつに「いざというときに助け合えるまちづくり」があります。そのためには常に住民一人ひとりが防災を他人事ではなく身近なものとして意識し、関心を持つことが大切だと思います。私達はこれからも、皆さんに関心を持っていただけるよう、役立つ内容を防災まちづくりニュースとして、お伝えしたいと思います。（里）



大森中・蒲田・糀谷地区

防災まちづくりの会 構成団体

左記の団体からの代表と公募住民の47名の会員で活動しています。

川崎自治会	東蒲田二丁目南町会
大森自治会	南蒲田一丁目自治会
大森町自治会	南蒲田二丁目町内会
大森中八幡自治会	南蒲田三丁目町会
北蒲田一丁目町会	新宿東町会
西蒲田一丁目町会	大森第一小学校PTA
西蒲田二丁目町会	北蒲田小学校PTA
西蒲田三丁目町会	糀谷小学校PTA
西蒲田四丁目町会	南蒲田小学校PTA
大森中央町会	大森東中学校PTA
東蒲田一丁目自治会	糀谷中学校PTA
東蒲田二丁目町会	大森中学校PTA
	公衆住民

大森中・蒲田・糀谷地区

防災まちづくりニュース NO.9

平成14年11月

大森中地区 防災生活圏促進事業

編集：大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりの会

発行：大田区 まちづくり推進部 まちづくり課 TEL.5744-1338

「防災まちづくり」考えていますか？

わたしたちが住む東京地方に被害を及ぼすと考えられている地震には以下の4つがあります。

特に東海地震は、静岡県駿河湾沖から東海沖にいたる海底を震源にマグニチュード8クラスの大規模な地震が発生するとして心配されています。東海地震については、東海地方を中心に観測計器を設置して、現在24時間

体制で観測しています。そして、この観測データに異常があり、大規模地震の発生の可能性が高いと判断される場合に、内閣総理大臣が「警戒宣言」を発令できるように地震防災対策の強化が図られています。

防災まちづくりの会では、いざという時、住んでいる人々の手によって被害を最小限にするため、活動しています。



東京に被害を及ぼす地震

ごあいさつ

大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりの会
会長 松原茂登樹

当会の活動も3年目を迎え、地区内の状況を確認するタウンウォッチングなど、会員が汗をかきながら、防災まちづくりを学び、伝える活動を続けています。

まちづくりは、すぐに成果が出るものではなく、長い地道な活動が成果につながります。

次の世代により良いまちを受け継ぐ気持ちで、わたしたちの手で、日々、防災まちづくりの取り組みを進めていきましょう。

下袋児童公園が完成！

第8号のニュースでお伝えした西糀谷の児童公園（防災広場）が完成しました。

公園の名称は「下袋児童公園（下袋防災広場）」。西糀谷二丁目町会の一時集会所にも指定され、看板が掲げられています。

遊びに行ってみてはいかがでしょうか。



防災まちづくりフェアを開催します

今年もまた当会主催による「大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりフェア」を開催します。当フェアも3回目を迎え、会の活動や地区の歴史を振り返りながら、今後の防災まちづくりについて考えます。

また、児童館を通じて募集した「防災まちづくりポスター展」、期限切れ間近の備蓄食品のおいしい食べ方などに取組みます。たくさんのご来場をお待ちしております。

第3回 大森中・蒲田・糀谷地区

防災まちづくりフェア

11月24日(日)

12:30 開場 13:00 開始
(15:30 終了予定)

会場：北糀谷小学校

雨天の場合は内容を変更する場合があります。

参加
無料

伝えよう！防災まちづくり

会の活動報告

体育館2階 13:10~13:40

地区の成り立ちを振り返りながら、防災まちづくりをどのように進めていくか考えます。

発表：大森中・蒲田・糀谷地区

まちづくりの会の代表

簡単クッキング・備蓄食品を

おいしく食べてみませんか

家庭科室：14:00から随時
期限切れ間近の備蓄食品のおいしい食べ方を考えます(調理・試食体験)。

児童防災まちづくりポスター展

体育館2階

「防災まちづくり」をテーマに、児童の皆さんにポスターを描いていただきました。

建替え相談会

体育館2階：14:00から
建替えの進め方(設計、助成制度など)を、一級建築士のかたに相談できます。



前回の防災まちづくりフェアの様子

通報・消火・放水体験

みんなで街を守ろう！

校庭：13:40頃から

街を守るための一連の活動を体験します。

(メニュー)

★火事だ！消防署へ電話(子ども向け)

★投てき水パックで火を消そう

★バケツリレーで放水準備

★アメタンカーで放水体験

大森山谷自治会の「アメタンカー」を使った放水体験を行います。



このほか、いろいろあります。
参加賞、景品もあるよ!!

大森中タウンウォッチングを行いました

8月24日(土)の午前中、大森中地区のタウンウォッチングを行いました。これは、今年1月の西糀谷地区タウンウォッチングに続くもので、27名の地区の方が参加しました。

過ごしやすい天気のもと、大森中地区の歴史にも触れながら防火水槽の場所などが確認でき、有意義なまち歩きとなりました。



助成制度を活用して、燃えにくい住宅に建替えた事例を見学しました。



商店街では商品が道にあふれ出し、道幅が狭くなっていました。



電柱により、使える道幅が狭くなっているところがありました。



会場に戻って、見てきたことを確認しました。



タウンウォッチングで感じたこと

狭あい道路などについて

- ・4m道路が、道路上の電柱により3mの幅員しかなかった。
- ・以前は道ではなかったところに土地を譲り合って道路ができていた。
- ・産業道路への抜け道は交通量が多い。
- ・西糀谷よりも車の往來を多く感じた。

一時集合場所など

- ・八幡神社の植荷前には40トンの防火水槽があった。敷地も広く広場もある。
- ・防火水槽は訓練をしている人でないと使えない。
- ・旧呑川緑地は奥行きが小さいので見通しが利く。防犯上の問題は少ないだろう。
- ・海苔干し場の跡が駐車場になっている場所などを見た。

地元の交流、周知

- ・道行く人とあいさつできた。近所づきあいが良くされていると感じた。
- ・今日の活動は会の宣伝になったと思う。

主な視察内容

- ・一時集合場所(堀之内三輪神社、旧呑川緑地、八幡神社、大森中川端児童公園など)
- ・道路(狭あい道路、隅切りなど)
- ・燃えにくい住宅(木造住宅密集地域整備促進事業)
- ・梅屋敷東通り商店街